

4. 北方資料

1. 北方資料室

本館には、北海道のほか樺太、千島列島、アリューシャン列島、ロシア極東地方、シベリア・アラスカ・北氷洋など北太平洋とユーラシア北部の全域にわたる文献を網羅的に収集管理するために「北方資料室」を置いている。このような北方地域の全分野に関する文献を収集している機関は国内には他に見られずその収書は附属図書館のユニークな蔵書の一つとなっている。

「北方資料室」が開室したのは昭和42年6月であるが、その歴史は昭和12年10月に全学的な研究機関として設置された「北方文化研究室」にまで遡ることができる。この研究室が昭和41年「文学部附属北方文化研究施設」に改組され閉室した際その収集資料を引き継ぎ、これに札幌農学校以来蓄積されてきた図書館所蔵の北方資料を合わせて「北方資料室」を開設したのである。

図書（和書）	32,767冊	地図・図類	5,000枚
（洋書）	8,757冊	開拓使外国人関係書簡	5,000通
パンフレット	12,400冊	北海道関係写真	5,600枚
写本類	4,500冊	「ユーカラ」レコード	180枚
漁場関係旧家資料（簿書）	850冊		
（一枚物）	3,700点		

（平成19年3月31日現在）

2. 北方資料データベース

平成5年度から科学研究費補助金により、旧記(写本・木版本)、地図・図類、古写真、外国人書簡、パンフレット等、北方資料室に所蔵する特殊資料を中心にデータベースを作成している。作成したデータベースは、文字データと画像データで構成され、当館 Web ページ上で公開している。

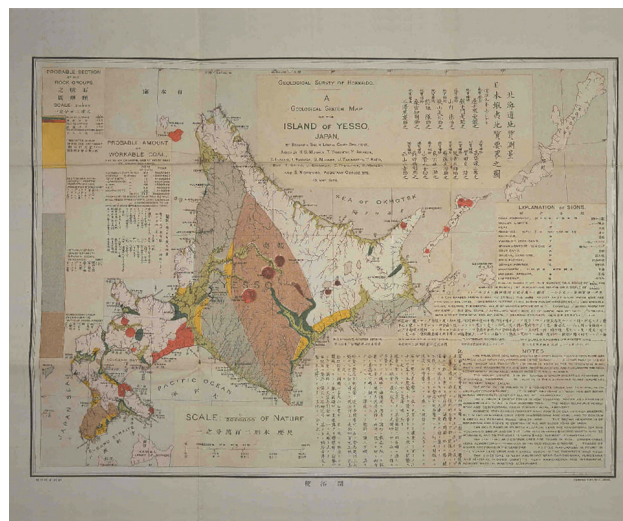
平成18年3月から現「北方資料データベース」の次期バージョンとして「北海道大学北方関係資料総合目録（β版）」を試験公開している。（β版）には、北海道関係資料、高倉文庫、高岡・松岡旧蔵それぞれのパンフレット目録をデータベース化し追加している。

区 分	文字データ件数	画像データ件数	総データ件数
日本北辺関係旧記目録	5,281	198,132	203,413
開拓使外国人関係書簡目録	5,050		5,050
北海道関係地図・図類目録	8,155	5,482	13,637
明治大正期北海道写真目録	18,307	6,164	24,471
旧外地関係資料目録	7,937		7,937
北海道関係資料パンフレット	8,566		8,566
高倉文庫パンフレット	2,834		2,834
高岡・松岡旧蔵パンフレット	6,410		6,410
計	62,540	209,778	272,318

（平成19年3月31日現在）



ラインマン、『日本蝦夷地質図』
明治9 (1876)年，石版



ラインマンが編集した北海道の地質図
広域な総合地質図としては、日本最初の地図である
とされている。

5. 図書目録データベースの遡及入力

平成18年度末現在，全学で約370万冊の蔵書を有し，その内訳は図書が約261万冊，雑誌が約109万冊である。昭和61年から図書業務の電算化に着手し，新規受入図書の蔵書目録データベース化を開始した。翌昭和62年から国立情報学研究所（NII）の支援を受けて第1期の4カ年間に約53万冊の遡及入力を行い，第2期から全学の事業として遡及入力を継続してきている。平成18年度は第5期第1年次にあたる。また，平成17年度と18年度にはNIIの遡及入力事業に応募し，それぞれ中国書2万冊，多言語資料等4万冊の遡及入力を行った。平成19年3月現在，約126万冊の図書が遡及入力され，電算化以降に新規受入された図書約100万冊を含めると約226万冊の図書が蔵書目録データベースに入力され，オンラインによる検索が可能となった。残る未入力冊数は約35万冊であり，遡及入力の早期完了をめざしている。

